



# 西幼だより

羽島市立西部幼稚園  
令和7年3月6日 No.19  
園長 安藤賢治

## 涙が流れる～わけがある～

◆実は、私、幼稚園長になる前、こんな会話をしたことを鮮明に覚えています。  
(中学生のサッカーの試合会場で)

私「感動して、涙が出てくるのではないですか？」

親「出てきません～。そりゃあ、よく勝ったなあって…。かっこよかったですよ。」

私「もうここまで、涙があふれてきていて…」

親「何言ってますか。幼稚園の頃の方が、よく涙してました。あの頃の方が、成長を喜んでいたのでしょよね。本当によく涙してました。」



練習し始めの頃の様子

親：「年少のころの“ペンギン”を思い出して、あの子どもたちがこんなにも成長したんだなあって思うと、もう、涙が流れてきて…。(涙)」

今、幼稚園で・・・

➢先月の「お遊戯会」～発表後に“涙”～  
・・・美しいときが流れました・・・

担任：「(涙)本当によく頑張ったと思います。  
今までで、一番でした。」

➢先の中学生の親とのやり取りを思い出した私でしたが、翌週、+感動がありました。

◆実は・・・お遊戯会には、「第二部」がありまして・・・

・練習は参加できていても、当日、全体の雰囲気になじめない子もいて、別日に保護者も招いての会を開催したのです。(このアイデアを生み出す職員に拍手！)

①気持ちを向ける・・・絵本：ぼくのなかには おこりんぼうがいます

②友達理解を聞く・・・「〇〇君や△△君は、どういう子？」

「～～が苦手。でも、◇◇ができるよ。」

「〇△君も、みんなと一緒にやりたいんだよね。でも…。」

③気持ちを聞く・・・「ちょっと、工夫してやってみたいんだけど…。

みんなも協力してくれる？」

「やるやる！ もう一回やりたい！ 一緒にやりたい！」

④準備・リハーサル・・・その子に合わせて、興味あるものを準備して、練習は一回だけ。

⑤本番・・・みんな にっこにこ！ 一緒にいること、一緒にできることが心から嬉しい！

1)大好きな絵本を 2)大好きな「電車・車」乗り物ごっこ&クイズ 3)劇の歌、踊り



2025/02/20



～インクルーシブの体現で ひとりひとり (=みんな) が“心地よい”～